

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時間	後期	教室名	第3校舎 701教室
担 当 教 員	曾和 鮎美	実務経験とその関連資格	伊丹恒生脳神経外科病院 薬剤師として勤務。2015年より医療安全管理者兼務。調剤業務、病棟業務、DI業務に加え医療安全管理室、NST、感染対策に従事。他学校薬剤師として地域の小学校などを担当し、地域医療にも従事。			
《授業科目における学習内容》						
各疾患の薬物治療、造影剤薬理、造影剤の有害作用対策について重点をおいて講義する。また、この講義を理解するには生理学、病態についての知識が必要となるためこれらの内容も概説する。一連の講義を通じて放射線検査時(特に造影剤検査時)に用いる医薬品について理解を深めるとともに、医療チームの一員として多職種協働するための基本的知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
100点満点のうち、小テスト3回(15%)と期末試験(85%)で60点以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書: わかりやすい薬理学 第4版 安原一・小口勝司編集 スーヴェルヒロカワ出版 参考書: イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂2版 町谷安紀 南山堂						
《授業外における学習方法》						
授業終了後にきちんと復習しておくこと。また、小テストを実施するタイミングで復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業1回、1コマを大切にしながら履修してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	医薬品の定義、薬物治療の目的を概説し、その基本となる用語について説明する。	教科書・参考資料・配布資料	シラバスを確認しておくこと	
		各コマにおける 授業予定	薬理学総論1 「医薬品」とは			
第2回	講義実習形式	授業を 通じての 到達目標	薬物の体内における動態(生体内運命)を理解する。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける 授業予定	薬物の吸収分布代謝排泄			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	小児・妊産婦・高齢者における薬物治療の特徴を理解する。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける 授業予定	小児・妊産婦・高齢者における薬物治療			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	医療安全と医薬品安全についての理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける 授業予定	医療安全・医薬品安全 第1回小テスト			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中枢神経系(麻酔・鎮静剤・抗不安薬・睡眠剤)、自律神経系の機能や自律神経に作用する薬剤の理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける 授業予定	中枢神経・末梢神経系に作用する薬物			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患(狭心症・不整脈・高血圧など)や消化器疾患(胃潰瘍・嘔吐・下痢・便秘)の治療薬について理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	循環器・消化器系に作用する薬物		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の機能について概説するとともに、血液疾患治療薬(抗凝固薬・血栓溶解薬)について理解を深める。輸液・電解質の概要についても理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	血液・造血器系に作用する薬物・輸液・電解質		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖代謝・脂質代謝・ホルモン調節に関わる治療薬の理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	代謝機能・ホルモンに作用する薬物		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症・免疫機能の概要と関連する薬物治療について理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	炎症・免疫・アレルギーに作用する薬物		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の概要と治療薬、消毒薬について理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	感染症治療薬・消毒薬		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	がんの治療薬および免疫治療薬について理解する。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	抗腫瘍薬 第2回小テスト		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線検査・MRI検査・超音波検査に用いる造影剤の特徴について概説し理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	造影剤の薬理学		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影剤によって現れるアレルギー症状を概説し、治療に使われる薬物について理解を深める。その他造影剤が惹起する有害事象について理解する。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	造影剤の副作用対策		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの講義をふまえ、放射線検査・治療の際に用いられる医薬品について理解する。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	核医学検査と医薬品		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線治療で生じる副作用(皮膚障害・粘膜障害・悪心嘔吐・脱毛・血液障害)の予防や治療に使われる薬物の理解を深める。	教科書・参考資料・配布資料	講義内容の復習
	講義形式	各コマにおける授業予定	放射線治療と副作用対策・総合まとめ 第3回小テスト		